

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2014年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2014年12月12日（金）14時00分～17時00分

場所：中部大学附属三浦記念図書館

出席：中京大学（渡辺英二）、名古屋学院大学（中田晴美、矢澤めぐみ）、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田 正江）、名古屋芸術大学（太田成夫）、愛知学院大学（足立祐輔）、南山大学（関谷治代）、愛知大学（中村直美、島田美津穂）、名城大学（古幡昭英）、中部大学（内藤和彦、稲ヶ部正幸、蓑島智子、稲垣啓吾）敬称略

理事校中部大学図書館長（内藤）の挨拶があった。なお議事進行は議長として選出された同館長（内藤）が担当し、下記の議題を協議した。

[報告事項]

1. 協会関係

西地区部会長校愛知学院大学（足立）より資料（p.1～2）に基づき、東西合同役員会、2014年度総会・研究大会等について報告があった。

2. 西地区部会関係

西地区部会長校愛知学院大学（足立）より資料（p.3～5）に基づき、西地区部会総会、役員会、運営委員会ならびに研究会について報告があった。

3. 委員会関係

(1) 協会賞審査委員会

協会賞審査委員会委員長校名古屋学院大学（矢澤）より資料（p.6）に基づき第1回委員会の報告があり、協会賞の募集中であることの報告があった。

(2) 研究助成委員会

研究助成委員会委員校愛知学院大学（足立）より資料（p.6）に基づき報告があり、研究助成規程の改正について説明があった。また、研究助成の追加募集について現状報告があった。

(3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校中部大学（蓑島）より資料（p6～9）に基づき、委員会、寄贈図書搬送事業、海外派遣研修、海外集合研修、海外認定研修、国際図書館協力シンポジウム等について報告があった。海外認定研修の第二次締め切りに向けて広報があった。

(4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員校南山大学（関谷）より資料（p.9）に基づき、協会ホームページの運用管理の委託等について報告があった。

4. 東海地区協議会総会等

理事校（菟島）より資料（p. 10～11）に基づき、総会・総会後の講演会、および第1回常任幹事会について報告があった。

5. 東海地区協議会研究会

研究会運営委員長校名古屋学院大学（中田）より資料（p. 12～14）に基づき、運営委員会、各担当者会議、研究会および実務担当者研修会について報告があった。ホームページについて、東海地区協議会の2012年8月以前の旧サイトから議事録と年間行事の移行作業を終了したことの報告があった。「館灯」の発行について進捗状況の報告があった。

6. 東海地区図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議運営委員会幹事校中部大学（菟島）より資料（p. 15）に基づき、運営委員会及び会議について報告があった。

7. 東海地区大学図書館協議会

東海地区大学図書館協議会運営委員長校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より、8月1日に中部大学で開催された総会、研究集会、研修企画小委員会の報告があった。また、12月19日に愛知県図書館で開催の研修会、および2月から3月に静岡県で開催予定の研修会について連絡があった。

8. その他

愛知大学（中村）より10月27日実施の「疎開した40万冊の図書」愛知上映会開催への協力についてお礼があった。

名城大学（古幡）より12月1日の講演会開催への協力についてお礼があった。

いずれも多数の参加があり、好評であったとのこと。

[協議事項]

1. 2015年度役員校、委員校について

理事校（菟島）より資料（p. 16～17）に基づき、説明があった。理事校は名古屋学院大学、監事校は中部大学、研究会運営委員会では、委員長校および主幹事校に愛知大学、副幹事校に名古屋外国語大学・名古屋学芸大学が担当する。主幹事校はローテーションでは名古屋商科大学であるが、大学の諸事情により辞退の申し出があり、愛知大学が研究会委員長校と主幹事校を兼ねることとなった。運営委員校については、次期委員長校の愛知大学（中村）より、ほぼ内諾を得て全12大学16名で行う旨の報告があった。

図書館管理・運営実務責任者会議運営委員会は、幹事校に名古屋学院大学、委員校に愛知大学、中部大学が担当する。

2015年度の常任幹事会役員校として、新たに名古屋女子大学（2016年度研究会主幹事校）と日本福祉大学（2017-2018年度研究会運営委員長校）が加わり、名古屋芸術大学（2014年度研究会副幹事校）以外は継続することが確認された。

2. 2015 年度以降の理事校・役員校等について

理事校（蓑島）より資料（p. 18～20）に基づき、2015 年度以降の理事校・役員校等について確認した。理事校ローテーションの中で、運用原則により名古屋商科大学から辞退の申し出があり、協議の結果了承された。

2015 年度においては研究会委員長校の愛知大学が主幹事校を兼務するので、2024 年度に一巡する後のローテーションの主幹事校担当は免除することが承認され、以降繰上げとすることとした。

2018 年度西地区部会総会会場校を、南山大学が担当することとなった。

2015 年度東海地区大学図書館協議会運営委員校のローテーション表について、辞退の申し出があった名古屋商科大学についてはこのまま表記することと、また静岡地区の私立大学担当の件について、名古屋大学に確認・照会したことが報告された。

なお、P. 18 と P. 20 の東海地区協議会のローテーション表については、今年度の総会資料から変更となるため、次年度の総会で説明し承認を受けることとした。

3. その他

(1) 「館灯」投稿、編集及び公開に係る申し合せ事項について

研究会運営委員会委員長校名古屋学院大学（中田）より別紙資料に基づいて説明があり、「館灯」の加盟館名簿は当年度 12 月 1 日時点の情報を記載することとし、総会で報告することとした。

(2) 今後の交付金、および会費徴収について

理事校（蓑島）より別紙資料に基づき説明があった。さらに西地区部会長校愛知学院大学（足立）から経緯などを含めた説明があり協議した。地区への交付金が増額となっても、地区の会費（＝活動分担金）の徴収は継続することとし、今後は会費減額も視野に入れた活動の見直しを行う方針とすることが確認された。3 月の西地区の役員会において、この方針と役員・委員等の旅費の補助についての要望があったことを報告する。

[懇談事項]

1. 2015 年度西地区部会研究会発表者について

理事校（蓑島）より 2015 年度の東海地区協議会からの発表者については、椙山女学園大学の天野由貴氏を推薦したとの報告があった。

[その他]

1. 2014～2015 年度私立大学図書館協会関係行事予定表について

理事校（蓑島）より資料（p. 21）に基づき、2014～2015 年度私立大学図書館協会関係行事予定について報告、説明があった。

以上